



オープンキャンパスのイベント - その1



8月6日(土)、「札幌大学を見て、聞いて、体験しよう。」と題し、令和4年度3回目のオープンキャンパスが開催されました。

図書館では、以下のようなイベントを実施し、たくさんの皆さんに参加していただきました。



【貴重書の展示】

図書館は本を読む場所だけでなく、知的好奇心を刺激する場所でもあります。そのコンセプトを基に、普段は貴重書庫に保管され、閲覧の機会が少ない貴重な資料を展示しました。展示資料をいくつかご紹介します。

『グーテンベルク 42 行聖書』 限定複製版

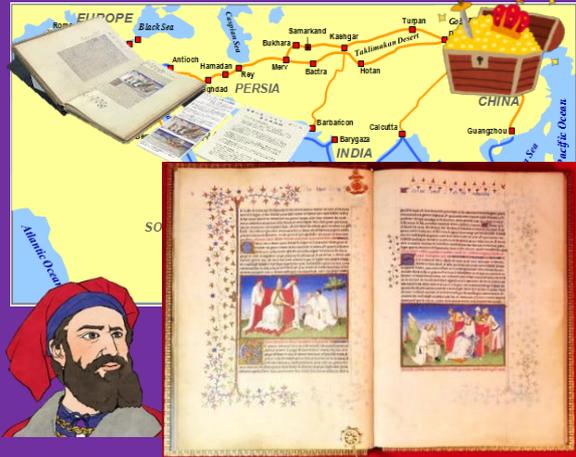
15世紀半ばの印刷術の発明以前の本は、人の手によって書き写された「写本」の形によって広まり、伝承されてきました。

ドイツの金細工職人ヨハン・グーテンベルクが発明したとされる活版印刷術によって印刷された、**世界最初の活字印刷の聖書**です。グーテンベルクは鑄造活字を使った印刷機を考案してマインツで印刷所を開業しました。印刷した聖書は「グーテンベルク聖書」とも、また本文の多くのページが42行の行組みであることから「42行聖書」とも呼ばれています。印刷部数は180部から200部程度と推定され、ドイツやアメリカ、イギリスなど48部が現存しており(うち12部は羊皮紙本)、アジアでは慶応義塾大学三田メディアセンター(慶應義塾図書館)が所蔵しています。



『驚異の書：マルコ・ポーロ東方見聞録』 ファクシミリ版

Polo Marco (1254-1323?) 著
1998年岩波書店刊



ファクシミリ版とは：

古書、写本、地図、版画、そのほか歴史的価値を持つ典籍のオリジナルと、可能な限りそっくりになるよう製作された複写または複製。原本の大きさ、色、状態、その他材質などをできるだけ正確に複製しようとしている点で、他の複製ものとは異なります。

『北斎漫画 四編』

出版地・出版社不明

葛飾北斎[1760-1849]による絵手本を集めたもので、1814(文化11)年から1878(明治11)年にかけて全15編をもって完結しました。



『北斎漫画』は北斎の代表作であり、『富嶽三十六景』とともに、日本はむしろヨーロッパを中心とする芸術家に影響を与えたことで知られています。絵手本とは絵の描き方などを習うのに用いる手本のことで、『北斎漫画』に収録された絵手本は約4000点にのぼり、山水・神仙・妖怪・人物・動物・器物など、あらゆる対象を百科全書的に描いています。全十五編のうち三編以後は北斎没後の刊で、他筆も混じっています。



【川柳大会】

昨年度も行った川柳大会今回も多数のご投句および投票にご協力いただきました。

**オープンキャンパス企画
図書館「川柳」大会**

図書館は 知識を詰めた 宝箱	感想が 五年後読んだら 変わってる	今になり 評定ないと あせりけり	返却日 近づいて来て あせる俺	参加した ツアーの先に 知の宝箱
ちょっと待て この本前にも 借りている！	歴史好き とか言いながら 知識ない	図書館 涼しいからか ずっといる	何度でも 読み返せる本 ここにある	ダイエツト 今年こそはと 秋になり
全集中 大切なのは 今なんだ	サイダーが はじけて痛い 口内炎	ひとたびに にぎれるとろろなし いとおかし	熱中症 暑さに負けず 水分補給	夏だけど 入試はすぐに やってくる

図書館
スタッフも
一句

文豪ら
姿を変えて
集う書架

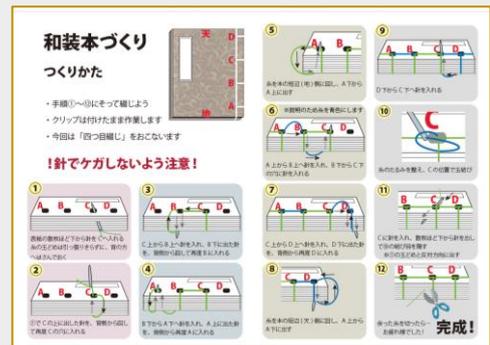
【図書館ツアー】

76万冊を超える蔵書を持つ、道内私大でも屈指の図書館を見学していただきました。今回は、普段公開していない『山口文庫』も見学していただきました。さらに、世界的な文化人類学者である山口昌男元札幌大学学長のコレクションの展示も実施しました。



【和装本づくり体験実習】

和装本とは、日本の伝統的な製本法によって製作された書籍のことです。和装本の綴じ方やかたちは、どれも非常に美しく、日本人が古くから書物を大切にしてきた思いが伝わるものです。図書館職員の解説と手引き書を参考に、日本伝統の和装本の代表的な綴じ方である「四つ目綴じ」を体験していただきました。



ヒョウタン根のうつつ：最古の栽培植物のひとつであり、アフリカ原産とされています。形状は多様で、加工製品も器やスプーン、水筒、運搬容器、薬用、楽器、お守り、祭事用品など100以上の用途があります。

今後も、皆さんに『図書館の魅力』が伝わるよう、さまざまな企画を実施していきますので、ご期待ください！！